

■■■ 編集後記 ■■■

今号は、新型コロナ禍での編集作業となり 2 回の編集会議はメールで行い、皆様には 3 密回避や在宅勤務など通常ではない状況下での原稿依頼となりました。各種活動が自粛されている中での編集でしたので記事が少ないことが懸念されましたが、皆様のご協力により通常よりも記事は少ないですが発刊することができました。ご寄稿いただきました皆様ありがとうございました。なお、「特集 道の駅」ですが、新型コロナ禍の影響により臨時休館している道の駅が多数あることを踏まえ、原稿依頼を自粛しております。このため、今号の特集記事はお休みさせていただきました。再開時期については今後の状況を踏まえ判断いたします。

私、広報委員になって初めての編集担当でした。他の広報委員と顔を合わすことなくメールでのやりとりでしたので、どうなることかと不安でしたが、なんとかゴールできました。人と顔を合わせないコミュニケーションはうまく伝わっているのか心配になります。今後は TV 会議が益々普及していくと思いますが、現時点で私が TV 会議に感じることは、用件だけを済ます(雑談がない、効率的というが本当か?)、空気感が伝わらないことがあげられ、やり方に工夫が必要だなと思います。また、在宅勤務が主流になると若手技術者の育成はどうするのだろうか等々、色々と考えさせられるところです。新型コロナ禍をきっかけに生活様式や働き方の変革が求められています。日本技術士会北海道本部の各種活動にも変化(進化)があると思いますが、本誌が皆様の交流の場として今後もあり続けることを願います。

第 151 号編集担当 田守 隆浩